

みずがめ座



1月21日～2月20日 誕生星座

☆実際に見える季節→秋

◎明るい星がなく形をたどりにくい星座ですが、すぐ下にある「みなみのうお座」の一等星フォーマルハウトから北へたどっていきと見つけやすいでしょう。

みずがめ座の神話

ギリシャ神話だと、みずがめ座は美少年ガニメデスの姿とされています。

ガニメデスは、エーゲ海にあるトロヤという国の王子で、体が黄金に輝くほど美しい、トロヤの美少年でした。その美しい少年のおはなしです。

大神ゼウスは、いつもそばにいてくれた娘ヘベがお嫁にいつてしまい、毎日寂しい日々を過ごしていました。毎晩ヘベがついてくれるお酒が大好きだったみたいです。

ある日、ゼウスは、美少年ガニメデスを見つけました。美しいものが大好きなゼウスはガニメデスを気に入り、ワシに変身して、ガニメデスを神様たちの住むオリンポスへさらってしまったのです。悲しむガニメデスの両親には、トロヤ国が豊かになるよう、代わりに黄金のぶどうの木をさずけました。

そして、ガニメデスは、オリンポスで神々にお酒をつぐ係になったのです。

ゼウスは、ガニメデスの両親がいつでもガニメデスの姿を見れるように星座にしたとされています。

☆星座の絵に

色を塗ろう！

参考文書 神話「小学館の図鑑 NEO 星と星座」

「地人書館 秋の星座博物館 山田卓著」

誕生星座の月日 「星の手帖社 パノラマ版こども星座図鑑」

※資料等によって内容が異なる場合があります。